

令和2年度おだわら市民交流センターUMECO実施事業報告

令和3年5月19日
第15回会議
資料 2-5

※UMECOの基本コンセプト「つながる」に基づく3つの方針

- ・きっかけ：つながるを生み出すきっかけの場（市民活動に興味のなかった方にも地域課題に関心を持ってもらう。身近な社会貢献活動の環境を整備する。）
- ・行動：それぞれの思いがつながる行動の場（市民活動団体だけでなく、事業者や地域活動団体等の多様な主体の交流を促進し、新たな連携関係を生み出す。）
- ・実現：行動を社会貢献につなげる実現の場（活動をより社会貢献度の高い活動として広げる。資金や人材等をつなぎ、持続可能な事業となるよう支援する。）

※令和元年度の2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各事業の中止や縮小、開催方法の変更等を行っている。

①拠点機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	30年度実績値	元年度実績値	2年度目標値	2年度実績値	達成率(%)	成果	課題・対応
1	UMECO企画展	きっかけ	市民活動団体が実施している社会貢献活動の内容等を多くの市民に紹介し、団体と市民がつながるきっかけを作る。	市民活動団体や関係所管部署からの展示企画の要望等を反映した形で、各団体の特徴を生かしながらジャンルごとの展示をする。また、市の行事や季節感のある行事を取り入れ、一般市民が興味を示すような企画展を開催する。当時アンケート調査を実施。展示希望団体の募集を常時している。	開催回数	38	29	35	25	71.4	活動団体のコロナに対する思いが強くコロナに負けてなるものかという思いを作品に表現し「コロナに負けるな、アマビエで撃退」というタイトルでアマビエ人形をたくさん作り多くの一般の方を元気づけた。	コロナ禍の中休館が3ヶ月あった為7団体の展示が中止になった。ホワイトエを利用する団体が少ないので、展示の雰囲気改善するためにポスターフレームを購入し工夫してみる。
					参加団体数	40	32	35	25	71.4		
2	団体登録制度	—	登録団体は少なくとも1年に1度は活動実績をベースに次年度の活動計画を立案し登録の更新をする。	UMECOに登録している市民活動団体に、年度更新の通知文を送付する。団体から必要書類の提出を受けて確認した上で登録団体データベースを更新する。それに併せてホームページの団体内容も更新する。又、令和元年度から市民への閲覧用としてUMECO館内に登録団体の紹介冊子を設置している。更新手続きはできるだけ多くの団体が登録できる様、メール・郵送も認める。	年度末の登録団体数	391	409	410	394	96.1	今年度は申込方法の簡略化を図り1団体でも多く団体に登録して頂けるように改善した。	今後も登録方法は続行する。
	活動エリアの管理	—	市民活動団体が、無料で使用できる活動の場を提供する。	登録団体が、3か月前から予約できる。なお、当日空いている場合は交流エリアとして誰でも利用できる。	活動エリア稼働率	25.7%	23.0%	25.0%	16.92%	67.7	コロナ禍の為活動団体が外出自粛で来館せず。	

②相談・支援機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	30年度実績値	元年度実績値	2年度目標値	2年度実績値	達成率(%)	成果	課題・対応
3	相談業務	全て	市民活動・NPO関係・その他一般市民の市民活動に関する相談を受ける。相談内容に応じ、適切な対応をすることにより、相談者の市民活動を活発化させる。	相談業務の充実を図るために、全ての相談をスタッフ全員が受け付け対応できるようにする。通常相談は常時受付、予約相談は月1回第1土曜日に実施する。職員の研修を重ねる。UMECOだより・つながるに相談業務窓口のPRを掲載。	相談件数	64	95	100	66	66.0	応援補助金に関わる相談が10件あり今後につなげたい。	相談の周知を広くする。
4	市民活動団体への資金面への支援	行動実現	市民活動団体が行う事業に対し、財政支援を行うことにより、市民活動の活性化を図り、市民の創意を活かした市民主体のまちづくりを進めること。	小田原市市民活動応援補助金の募集等を行うことに加え、市民等からの寄付金を財源とした市民活動団体への支援を行う。UMECO市民活動応援補助金は令和元年度は0であった。令和2年度は2団体を目標に応募者を支援する。 ()内はUMECO応援補助金該当数	応募件数	—	0	22	18	81.8	今年度から市民活動応援補助金受領団体の活動内容視察に行き実態調査を行う。結果報告のプレゼンに併せて成果をパネル展示する。(令和3年6月20日実施予定)	今後団体の活動に対し助言や気づいたところをお伝えする機会を作りたい。
					寄付金額(円) ※年度末時点での累計金額	—	—	25万	約25万			

③協働支援機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	30年度実績値	元年度実績値	2年度目標値	2年度実績値	達成率(%)	成果	課題・対応
5	企業とのネットワーク	実現	市民活動団体が企業とネットワークを組むことにより、市民活動団体の活動場所や市民活動の意義の周知につなげ・又団体の資質の向上にもつなげる。企業のCSRと活動団体の協働事業を行うことにより更なる市民活動の推進発展を図る。	企業とのネットワークなので、企業と相談の上win winの中で活動する。シティーモールで年3回のフェスティバルを開催する。又指定管理期間の5年の間で新たな企業との協働事業を開拓する。今年度は実施可能な事業形態などを検討し施行する。 クリスマスフェスティバル 12月20日(日) 11:00~15:00	開催回数 参加団体数 参加者数	3 31 2000	2 22 1400	3 33 2000	1 8 300	33.3 24.2 15.0	コロナ禍の中1回だけでもクリスマスフェスティバルを実施することができ、団体も発表する場を得て生き生きと活動できた。	団体のモチベーションを下げないためにも活動場所を確保するよう努力する。 令和3年度は新たにミナカとの連携を予定。
6	地域とのネットワーク事業	実現	地域活動団体と市民活動団体との連携を通じて地域の活性化や課題解決へと結びつける。	今年度も令和元年度に続き地域の課題解決のために、行政や地域のまちづくり委員会との情報交換を行い、中間支援組織として、UMECOの登録団体が地域課題の解決を支援する。地域活動の関係者と活動団体と共に課題解決に実績のあった事例を発表し双方に気付きや発展に結びつくための機会を作る。又従来から実施している地域活動団体等からの依頼に応じ、適した市民活動団体を選定し、紹介する。両者の交流を通してお互いの活動内容を理解し、今後の発展的な活動に繋げるために市民活動登録団体名簿の内容と表記の改善をして見やすい冊子を作る。名簿の配布先は課題解決をする関わりの強い所を含め配布先を決定する。 (例・まちづくり委員会実務担当者・自治会長・民生委員・公民館学校他)	実施回数 実施団体数	67 6	67 5	70 7	2 1	2.9 14.3	コロナ禍の中イベント関係はゼロであったが自治会から課題解決の要望があり2回実施できた。(15区自治会から北條稲荷の樹木伐採 協力団体山盛の会2回実施)。HELLOUMECOの冊子を作成。	自治会とのネットワークを強くする手段としてHELLOUMECOの冊子を作成し多くの関連団体等に配布した。今後関連団体が課題解決のために冊子の活用を活かし課題解決に繋げていただきたい。
7	協働事業(うきうき交流サロン)	行動実現	市民活動の担い手となる高齢者の社会参加を増やすとともに、UMECOと同様にボランティアを支援している小田原市社会福祉協会・地域包括支援センターしろやまとの連携を強化する。またできる範囲内で学校・企業・市民活動団体に働き掛け新たな協働事業を展開する。	協働開催イベントは継続し、今後3事業体の実務者協議を行って課題解決への企画案を提示する。今後いろいろな面で市民活動が発展的につながるように活動を展開する。	実施回数 参加者数	2 —	2 67	2 80	0 0	0.0 0.0	中止	対象が高齢者の為集まらなくても事業が出来るような手法を考える。オンラインでもできるような内容の検討をする。
8	県協働事業 企業・NPO・学校 パートナーシップ	きっかけ	多様な主体の出会いときっかけづくりの場を作る。	「企業・NPO・学校のつながりin小田原」の事業は県との協働事業で今年度は3回目になる。年々企業と市民活動団体とのつながりが増加し成果が上がってきた。そこで協働した事例の把握をしその後のフォローアップにつなげる。 2月11日(木・祝) 13:30~16:30 協働事例紹介、参加者PR、交流	参加者数	60	61	65	34	52.3	県との協働事業3回目。コロナ禍の中なのでZOOMで実施した。集大成として多くの団体と企業とのつながりができ、今後の活動へのきっかけができた。	企業と団体とのつながりは成果があったが、学校との繋がりが薄いので、今後学校を主体とし団体とのつながり又学生のボランティアに対する関心度をたかめる。

④学習・体験機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	30年度実績値	元年度実績値	2年度目標値	2年度実績値	達成率(%)	成果	課題・対応
9	市民活動入門講座	きっかけ	超高齢化社会の中、若い人も含めシルバー世代の方も生きがいを持ち、生き活きとした社会生活が出来るよう市民活動へのきっかけ作りをする。	市民活動の基本的な内容や、なぜ市民活動が楽しいのかを知って頂けるような講座を実施。市民活動を知らない方を対象に、市民活動に興味を持ち、活動をはじめてもらえるようなきっかけを作るための講座を開催した。 9月12日(土) 13:30~15:30 「未来の自分がここにある。充実した人生を」の講座及び2団体の活動発表。	開催回数 参加者数	2 27	1 31	1 35	1 20	100.0 57.1	コロナ禍の中苦勞して活動している団体の活動内容を発表して頂き、今だからこそできる市民活動の意義を知らせることができた。	コロナ禍の中で人を集めることはできないが今後ZOOMやインターネットを駆使し事業を実施する。
10	NPOマネジメント講座	きっかけ	市民活動団体がNPO法人を目指し活動をして頂く手段として講座を企画。NPO法人に関する知識が得られるような講座を開催する。	NPO法人に必要な総合的な内容についての講座を開催する。NPO法人の団体間の連携を深めるため・団体の情報交換・NPO法人として今後どのような活動をしたいか課題を出し合う・課題解決の手法を考えるなど積極的に行う。	開催回数 参加者数	1 13	1 17	1 20	0 0	0.0 0.0	中止	NPO法人になりたい団体を募集し、NPO法人のメリット、デメリットに関する講座を開設する。
11	夏休みボランティア体験学習	きっかけ	青少年の時期には、学校内外を通じてボランティア活動の場や機会を充実させることが大切である。社会にどのような貢献ができるかという「ボランティア精神の芽生え」のきっかけ作りを行う。	ボランティアの受け入れを登録団体に募集し、受入れ団体と・児童・生徒との橋渡しをする。できるだけ多くの市民活動団体の活動を体験させるために団体の積極的参加を得る。また、学生と関係ある学校側の協力を得よう働き掛ける。	参加団体数 参加者数	45 258	40 293	40 300	0 0	0.0 0.0	中止	低年齢特に中学生が多い中、子どもの安全・安心を鑑みやむなく中止とした。受入団体も高齢の為受入をためらう団体が多かった。
12	学生支援ティーサロン	きっかけ	ティーサロンを通し学生の企画力や実施力を養う。又UMECOからの様々な情報を提供し、市民活動を知る機会を提供する。	学生が主体となって企画立案し運営する。又企画の中で市民が興味を示す工夫や四季を通じた行事色を生かし、誰もが一緒に季節感を楽しみながらお茶を飲み情報交換できる雰囲気を作り、おもてなし等もする。UMECOは活動に参加している学生の意志を尊重し、学生自らが企画運営する事業のサポートなどを行い、自立に向けた活動支援をする。この活動を実施しているグループを、学生ボランティアグループ「SPACE」という。令和元年度からこのような手法で実施した。学生たちの自立に向け着実に効果を上げている。他団体からの活動要請があれば協働で実施し学生の活動機会を拡大する。しかしコロナの影響でティーサロンは中止、その代わりに自主事業として清掃作業に取り組んだ。	開催回数 定例会 参加者数	10 300	3 6 78	4 5 100	2 9 69	50.0 180.0 69.0	コロナの影響で予定していた学生支援(ティーサロン)はできませんでしたが、他団体からの要請があり学生に学ぶ機会が得られた。声の万華鏡から朗読を応急手当勉強会から救急救命法の講習等ピンチをチャンスに変えることができた。	学生自身が自主活動としてもっと活動を活発化したい。
13	市民活動出張講座(ボランティア出前講座)	きっかけ	中高大学生に対し、市民活動とは何かを知ってもらうことにより、市民活動を実践するきっかけを作る。	市内の大学や高校等へ積極的に働きかけ、市民活動について広く周知し啓発するために講座を開催する。近隣の学校に協力を働きかけ出張講座の数を増やす。 10月9日(月) 15:00~16:00 小田原短期大学	開催回数	4	5	6	1	16.7	夏休み体験学習が中止になったのでそれに伴い学校からの要請は無かった。しかし小田原短期大学から講演の依頼があったのでZOOMで実施した。	市民活動の意義やボランティア活動についての考え方を知らず、学校側には協力を要請する。今回はコロナ禍で学校も休校、自宅待機という変則的な状況だったので、実施不可能でした。

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	30年度実績値	元年度実績値	2年度目標値	2年度実績値	達成率(%)	成果	課題・対応
14	男女共同参画講演会	きっかけ	男女共同参画に関する講師を招き、男女共同参画についての理解を深めると同時に市民活動へのきっかけを作る。	男女共同参画週間に講演会を実施する。	開催回数	1	1	1	0	0.0	中止	人権・男女共同参画課との共同事業。行政から中止の回答をいただく
					参加者数	70	80	80	0	0.0		
15	女性のエンパワーメント講座	きっかけ	女性の自立をめざし、特に就労に視点を当て経済的に自立を支援すると同時に市民活動へのきっかけを作る。	女性の働き方にもいろいろあるので、仕事・結婚・子育て・介護を含め自立に向けた人生のタイムスケジュールの考え方の講演会を開催する。	開催回数	1	0	1	0	0.0	中止	中止
					参加者数	6	0					
16	インターンシップ受入	きっかけ	若い力を育てるためインターンシップの受入れを行い、多くの登録団体とつながる機会を作る。	インターンシップを希望する学生に対し、充実した体験学習プログラムを企画し要望や希望を受け入れ効果的な実施体験の場を提供した。	参加者数	1	0	1	1	100.0	1人	今後も積極的に受け入れる。

⑤交流・コーディネート機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	30年度実績値	元年度実績値	2年度目標値	2年度実績値	達成率(%)	成果	課題・対応
17	UMECO祭り	きっかけ	多くの市民にUMECOや市民活動団体を周知し、市民活動参加へのきっかけを作るとともに、参加団体相互の交流を図る。又、市民活動に興味や関心を持った市民がともに市民活動ができるようにする	登録団体や利用者が一堂に会し、活動発表や作品展示など様々な企画（活動紹介・物品販売・パフォーマンス）を行い、自分たちの活動内容を多くの市民に知らせる。アンケートの積極的な回収及び反省を踏まえ有効活用をした。映像まつり期間 11月15日（日）～12月28日（月）	開催回数	1	1	1	1	100.0	通常の形では実施できず。ZOOMによるライブとインターネットによる動画公開。初めての経験でしたが素晴らしい成果があった。	つながるビデオおさるのかごや、おまつりライブは団体さんに大きな負担をおかけしたので、軽減できるよう工夫をしたい。
					参加団体数	100	92	95	60	63.2		
					参加者数	4000	3500	3500	57	1.6		
18	声の万華鏡	行動	文学という大きなくくりの中から、西湘地域の民話や、文学的作品の紹介を朗読を通して多くの方に伝える。出演者は老若男女を問わず希望者には幅広く参加して頂く。特に高校生の演劇部と共催で実施する。	文学を愛する多くの市民が自主的に運営委員会を立ち上げ既に基礎が出来上がり実施している。今後も運営委員会を主体に参加者を募集し内容の調整をする。今年度も文学を中心とした団体さんと高校生とコラボして第5回声の万華鏡を6月28日（日）に実施する。→中止 今後他の高校生にも協力を得るために声かけし協力を得る。今年度はできるだけ何時でも多くの市民が文学や声に触れることが出来るよう、ティーサロン等で紙芝居や朗読などを披露する機会を得られるよう働きかける。	開催回数	2	1	1	1	100.0	第5回声の万華鏡イベントが実施できず。その代わりに声の万華鏡文化祭を開催しミニ朗読会も実施した。3月には小田原ガイド協会からの要請があり「本を片手に街歩き」のイベントで朗読会と下曽我街歩きの中で尾崎一雄の朗読を実施。他団体とのコラボで事業が実施できたことは今後の事業の発展につながる大きな前進だ。10月から学生支援「S.P.A.C.E」の定例会の後に朗読会を実施した。	第5回声の万華鏡のイベントがコロナ禍の影響で実施できず。6月予定が延期更に2月に無観客で予定。これも中止。3月12日～25日まで5年間の歩みをパネルで展示する文化祭開催。22日から25日はミニ朗読会を実施。今後コロナ禍の中でも工夫しできるだけ朗読の成果を出せる機会を作る。
					参加団体数	26	24	23	10	43.5		
					参加者数	350	400	430	55	12.8		
19	わくわく交流会	行動	登録団体同士の交流会により、他団体の活動内容を知り、新たな発展的な活動の展開が行われ、市民活動の推進を図る。	分野別や課題別で団体が集まる市民活動団体間の交流事業。情報交換やワークショップ等を行う。 今後も交流後のフォローを行い充実した交流会にする。昨年実施した <u>子育てのフォローアップを実施</u> 。今年度は・ <u>国際協力の活動・環境の保全を実施予定</u> 。昨年防災関係の交流会を実施し団体との関係が深まった中、今年はその発展的事業として <u>防災に関する事業を開催した</u> 。	開催回数	2	2	3	2	66.7	1月27日（水）13：00～15：00 子ども関連団体2団体がコロナ禍における活動内容を発表。 3月24日（水）13：30～15：30 防災について「明日にも来る！！地震と津波」についての講演会。 ともにオンラインZOOMによる開催。	今後もコロナの状況により臨機応変に対応する。
					参加者数	40	36	45	50	111.1		

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	30年度実績値	元年度実績値	2年度目標値	2年度実績値	達成率(%)	成果	課題・対応
20	新春交流会	行動	市民活動団体と連合自治会長が一堂に会し交流を図ることで、市民活動団体同士及び市民活動団体と地域活動団体とのつながりを生み出すきっかけをつくる。	普段団体同士の交流が少ない中で、机上論で話し合うのとは違い、飲食しながらお互い心穏やかにゆとりの中で会話のできる機会を持つ。1部はできるだけ団体の活動を知っていたりするような内容を企画し、2部は参加者同士のコミュニケーションが図れるよう工夫する。アンケートの積極的な回収と活用をはかる。アンケート結果を踏まえ改善できるところは改善し市民活動団体を中心に自治会とのつながりを深める。 今年ZOOMで開催し、自治会への参加依頼は行わなかった。 1月16日(土) 14:30~16:30	開催回数 参加団体数 参加者数	1 51 142	1 46 131	1 48 150	1 24 46	100.0 50.0 30.7	今回はZOOMによる新春交流会を実施。画面の中からコミュニケーションが取れる工夫をした。パフォーマンス・クイズ・Bingoゲームなどバラエティーに富み楽しんでもらえた。	実施するにあたり、ZOOMの事前講習をしたりかなり丁寧に多くの団体が参加できるように工夫した。今後の課題ですがWIFIの環境が不安定になるのでその改善が必要。
21	市民交流広場	きっかけ	市民活動団体をはじめ、広く一般市民の方や外国籍の方を対象に、楽しくソフトで自由な雰囲気の中での交流会。 また、UMECOからの様々な情報を提供することで、市民活動の裾野拡大を目指す。	小田原市の一大イベントである北条五代祭りは一般市民や観光客も含め多くの方が小田原に来訪する。その機会を逃さず季節に合った飲食やミニコンサート等の交流を通し、UMECOの存在価値を示す。8月には一般市民との交流広めることを目的に市民活動団体の発表の場を設定し「夏祭り」を実施する予定でしたが、コロナの為実施できず。	開催回数 参加者数	2 300	2 350	2 350	0 0	0.0 0.0	中止	コロナ禍真っ只中の為北条五代祭りも中止UMECOも緊急事態宣言で閉館中。予定していた事業5月・8月実施できず。

⑥情報の集約・発信機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	30年度実績値	元年度実績値	2年度目標値	2年度実績値	達成率(%)	成果	課題・対応
22	メディア・ホームページ情報発信	きっかけ	情報発信の身近な手段としてホームページで多くの市民に市民活動情報を発信し、市民活動に興味をもってもらう。小田原市の市民活動の推進・UMECOの利用促進を図る。 FMおだわら、J:COMのラジオ及びケーブルテレビを通し、団体の活動を一般市民にPRし、更なる活動の推進につなげる。	小田原市の市民活動の推進及びUMECOの利用促進につながる様々な情報を収集して、ホームページで迅速・正確に発信する。(市民活動団体に必要な情報・助成金・活動の予告・団体からの情報その他必要と認める内容を掲載する。) FMおだわら(毎週日曜日の午前10時)10分~15分間、団体の活動紹介をした。 J:COM(随時)団体のイベント情報の紹介等を行う。 事業実施前後にフェイスブックを活用し情報を提供した。	ホームページのトップページの写真の入れ替え FMおだわら回数 参加団体数	5 52 53	49 51	出来るだけ迅速に行う。 50 53	51 51	102.0 96.2	今年度の目標はホームページの情報を迅速に行うことでした。コロナ禍の中だからこそ情報をこまめに流し対応できた。FM放送もスタジオに行かず電話で対応しすべて予定通りに実施することができました。	情報は常時キャッチできる様今後も努力する。
23	UMECOだより・つながりの発行	きっかけ 行動	「UMECOだより」は、一般市民や市内外の方にもUMECOの情報や取材したタイムリーな記事を提供するための情報紙である。市民や市民活動への興味を持って市民活動への担い手を増やす。 「つながる」では、登録団体にUMECOの事業の情報や市民活動に関する情報を提供しUMECOの利用促進と市民活動の活性化を図る。	市民が社会貢献活動に興味を持てるようイベントやボランティア募集の情報を掲載する。市民活動団体の情報だけでなく、市民が関心を示す社会的な記事・季節感ある記事等、情報紙として価値ある内容を載せた。 ◆偶数月隔月6回発行 登録団体に他団体の情報や、UMECOの活動を知らせるための記事を載せた。 ◆偶数月隔月6回発行 今年度はイメージを改め事業報告より読んでいただける予告事業の広報に力を入れ、新しい発想の中で保存したくなるような「UMECOだより」にしたいと考え実施した。	発行回数 発行部数	6 2500	6 2500	6 2500	6 2500	100.0 100.0	6・7月号は休刊としましたが、UMECOだより2020年NO28臨時号を6・7月号の代わりに発行した。コロナ禍の中ですが必要な情報を載せ発行した。	常時社会状況を把握し、市民や活動団体が興味を持つような記事を作成する。